

平成 28 年度 大阪国際大和田中学校・高等学校 学校評価

大阪国際大和田中学校・高等学校

校長 中井 孝典

1 めざす学校像

全人教育を基礎として礼節を重んじ世界に通じる心豊かな人間を育成する学校

【めざす学校像】～ さらなる躍進をめざして ～

- 礼節を重んじ国際社会に通じる豊かな心をもった生徒を育成する学校。
- 進学校として進学実績の向上をめざし、保護者から信頼され、期待される学校。
- 全てにおいて「チーム大和田」として組織的に一丸となって取り組む学校。
- 日本や国際社会で活躍できる高い「志」を持った人材を育成する学校。
- 人権を尊び安全安心な学校として生徒や保護者が安心し、笑顔が溢れる学校。

【生徒に育みたい力】

- 高い教養と正義感に裏打ちされた豊かな人間力。
- 課題を乗り越え、高い志に向かって最後まで頑張り抜く強い精神力。
- 学んだ知識や経験をつかって応用や創造する考える力。
- 世界で活躍できる高い資質や能力。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

(1) 3年間を見通した高い学力の定着に取り組む

- ア 授業アンケートにおいてアンケート項目の「授業が良く分かる」の項目を今年度末においてAが30%以上、平成29年度末50%以上をめざす。
- イ 教科担当、部顧問の連携を密にし、個々の生徒の学習到達度を共有し、補習や講習と部活をスムーズに連動させて学力を向上させる。
- ウ 文武両道を奨励し、部活動との両立ができている生徒の割合を向上させる。
- エ 高い志の涵養をはかるとともに、難関大学の合格者数を増やす。平成30年度の大学入試で京大、阪大、神戸の合計人数を20人以上、関関同立にあっては延べ合格者数を、250人以上をめざす。

(2) 学習指導の充実に取り組む

- ア 各教科毎に3年間を見通した学力育成プログラムを作成する。
- イ 本校の生徒実態を踏まえた、学習到達目標の点検を行うとともにさらなる充実に取り組む。
- ウ 電子黒板またはプロジェクターを全教室に導入し、一層の授業改善を行う。
- エ 授業評価と研究授業、公開授業の充実(教科の枠を超えた授業研究の実施)し、互いに見学する回数を1人平均3回以上にする。
- オ 英語に対する学習意欲を増加させ、英語検定2級以上またはTOEFL40点以上の生徒が100人以上をめざす。

2 グローバル社会に貢献できる人材の育成

(夢・志の育成とともに、豊かな人間性の育成)

(1) グローバルに活躍する人材の育成

- ア 海外の優秀な大学の授業を体験して世界を知らしめ、大きな刺激を与える。ケンブリッジ大学での研修を実施する。
- イ 海外研修を充実させ、世界を意識させるとともに英語力の向上をはかる。
- ウ 大阪国際大学と連携し、世界に羽ばたく意欲を高める取り組みを実施する。

(2) 生徒理解の促進と安心な学校づくりのための体制の確立をめざす。

- ア 教育相談委員会の充実をはかり、担任、学年団、カウンセラーと連携し、様々な問題で登校できなくなる生徒を支援し、不登校状態の生徒を0に近づける。
- イ 学年連絡会を活性化させ学年団で生徒を支援する体制を構築し、入学した生徒が全員卒業できるようにする。

3 中堅、若手教員の資質の向上

- ア 新規採用教員に対して教科指導力、生徒指導力の育成を図る。
- イ 若手教員に対しても教科指導力、生徒指導力の育成と中堅教員に対しては学校運営の視点を育成していく
- ウ 予備校等のベテラン教員を招聘し、授業展開に主眼を置いた研修会を開催する。

4 教職員の学校運営に対する意識の向上

- ア 職員会議の時間を1時間未満に短縮し、教員が生徒と係わる時間を増やす。
- イ PTAの活性化に協力する。

3 本年度の取組内容及び自己評価

自己評価：◎目標以上 ○ほぼ目標どおり △目標に達していない ×全く取り組めていない

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	(1) 大和田スタンダードの実施と検証を行い各教科ごとの到達度を高める。	(1) ア・大和田学力育成プログラムの内容の充実を図る エ・学習到達低位の生徒への組織的な対応 オ・土曜日の活用を研究し実施する。	(1) ア・3年間を見通した学力育成プログラムの改良 エ・補習、講習の充実 指名補講として10回以上実施する。 オ・3年生対象の進学講習等を10回以上実施する。	(1) ア 3年間を見通した学力育成プログラム (×) エ 補修、補講の充実 指名補講・・・考査毎に実施 (◎) オ 3年生対象の進学補習 夏期休業中に10日間実施 (◎) 8/1～8/10、8/19～8/23 特別講習 8/11～8/17
	(2) 授業改善の取組を行い授業満足度を向上させる	(2) ア・「一方的な授業形態を改め、双方向の授業」を今まで以上に推奨し推進する イ・教員相互の授業建学を行い自身の授業改善を行う→見学回数5回以上(全教員) ウ・授業力向上のために研究授業を行い国際大学教授等外部講師から評価をうける。 エ・先進的取組の視察や授業見学などによる教科指導法の研究実施 オ・英語教育の見直しを行う。	(2) ア・学校関係者評価(生徒と保護者)の授業が分かりやすいのA評価が30%を上回る。(H27年度、17.3%) イ・相互の授業見学5回以上 ウ・各教科のべ3回以上 エ・他府県等の視察3か所以上 オ・「聞く」「話す」を取り入れた授業を展開する。	(2) ア H27年度 17.3% → H28年度 27.4% (△) ※生徒のみ A+B ⇒ 88.3% イ 相互の授業見学 (○) ① 若手教員は自主的に実施 平均3回以上 ② 公開授業1回 常勤講師は全員1回実施した。(延べ20人) ③ 保護者懇談の日は授業公開を実施 ウ 研究授業1回 (△) ① 研究授業1回 英語・数学・国語・理科・美術で実施 授業実施後、教科ごとに研究協議を実施した エ 他府県の視察 0回 (×)
	(3) 自学自主の態度を養成し、意欲的に学習する姿勢の涵養。	(3) ア・家庭学習の時間の確保を行い、家庭で学習する習慣を身につけ、学習意欲を増加させ、自己の将来を展望させる。 イ・高い志の涵養。	(3) ア 家庭での学習時間は平日には3時間、休日には6時間をめざす。 イ・全学年の勉強合宿の開催	(3) ア 下校時刻を午後7時として厳守させた(△) →家庭での勉強時間を確保した Study support data 1年生 4月平均 1時間2分 9月 1時間36分 2年生 4月 1時間6分 9月 1時間12分 3年生 4月 1時間38分 イ 全学年で勉強合宿を実施した(◎)
	(4) 英語力の向上	ア 英検2級以上又はTOEFLを受験する	ア 英検2級を100人以上	ア 2級合格者 (◎) 高校1年生 51人 2年生 48人 3年生 31人 合計 130人 準1級合格者 各学年 1人 ※高校生 準2級 268名 中学校 2級 10人 準2級 40人

【自己評価アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析〔平成29年1月～2月実施〕

【結果】

- 資料① 平成28年度 学校評価（生徒）アンケート集計表
- 資料② 平成28年度 学校評価（保護者）アンケート集計表
- 資料③ 平成28年度 学校評価（教職員）アンケート集計表

【分析】

1. 実施状況

対象		対象者数	回収数	回収率	調査期間	備考
生徒	高校3年	260	251	96.5%	平成29年2月27日	資料①
保護者	全学年	1086	983	90.5%	平成29年1月16日～30日	資料②
教職員	常勤	57	58	98.3%	平成29年2月6日～13日	資料③

2. 対象別アンケート結果

○ 生徒（高校3年生）

アンケートの項目（全30項目）を肯定的評価（A+B）の割合で集計したのが表1である。肯定的評価が80%以上の評価の高い項目は25項目で全体の83%、肯定的評価が60%未満の評価の低い項目は0項目であった。評価A+Bが90%以上の「評価の高い」9項目と評価A+Bが70%以下の2項目は以下の通りである。昨年度に比べて、かなり高いほうへシフトしていると思われる。

表1 肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～0	項目総数
28年度	9	16	3	2	0	0	0		30
27年度	5	10	7	6	2	0	0		30

ア. 評価A+Bが90%以上の「評価の高い」項目

- ・学校は学力向上に取り組んでいる : 92.8%
- ・学校は国際理解、ボランティア活動に取り組んでいる : 91.2%
- ・学校は分からなかった時の補習、質問指導に熱心である : 90.4%
- ・大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。 : 93.1%
- ・先生は生徒の間違った行動を改めるように指導している : 92.0%
- ・先生は熱心に指導している : 93.6%
- ・学校は緊急時の対応を生徒に伝えている : 90.7%
- ・困った時、相談や手助けをしてくれる先生がいる。 : 92.3%
- ・学校は災害が起こった場合の訓練を行っている : 95.2%

イ. 評価A+Bが60%未満の「評価の低い」項目

- ・学校の建学の精神を理解している : 50.2%
- ・学校の施設・設備は学習環境の面で満足できる : 52.7%
- ・学校の教育方針を理解している : 59.8%
- ・本校の生徒であることに誇りを持っている : 57.6%
- ・学校がより良く変わっているように感じる : 47.1%

○ 保護者（高等学校）

アンケートの項目（全33項目）を肯定的評価（A+B）の割合で集計したのが表2である。肯定的評価が80%以上の「評価の高い」項目は24項目で全体の73%、肯定的評価が60%未満の「評価の低い」項目は1項目あった。その1項目は「学校のPTA活動には参加しやすい。」であり52.4%であった。しかし、毎年上昇し、昨年より0.7%増加している。PTA会長並びにPTA役員によるものと思われる。

評価A+Bが90%以上の「特に評価の高い」6項目は、以下の通りである。肯定的評価（A+B）の70%台の項目数が減少し、90%台が増加しているが、全般的には大きな差異はないと考えられる。

表2 肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～0	項目総数
28年度	6	18	6	2	1	0	0	0	33
27年度	4	18	8	2	1	0	0	0	33

ア. 評価A+Bが90%以上の「特に評価の高い」項目

- ・学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う : 90.1%
- ・学校はお子様の間違った行動を改めるように指導していると思う : 91.7%
- ・お子様は文化祭、体育祭、宿泊行事などの学校行事に積極的に参加している : 93.3%
- ・学校は資格、検定の取得に取り組んでいる : 93.5%
- ・先生はお子様を熱心に指導していると思う : 90.9%

イ. 評価A+Bが60%未満の「評価の低い」項目

- ・学校のPTA活動に参加しやすい : 52.4%

○ 保護者（中学校）

アンケートの項目（全33項目）を肯定的評価（A+B）の割合で集計したのが表2である。肯定的評価が80%以上の「評価の高い」項目は230目で全体の69.7%、肯定的評価が60%未満の「評価の低い」項目は1項目あった。その1項目は「学校のPTA活動には参加しやすい。」であり56.74%であった。しかし、毎年上昇し、昨年より1.9%増加している。PTA会長並びにPTA役員の努力によるものと思われる。

評価A+Bが90%以上の「特に評価の高い」8項目は、以下の通りである。肯定的評価（A+B）の70%台の項目数が減少し、90%台が増加しているが、全般的には大きな差異はないと考えられる。

表2 肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～0	項目総数
28年度	8	15	8	1	1				33
27年度	6	15	11	0	1				33

ア. 評価A+Bが90%以上の「特に評価の高い」項目

- ・学校は印刷物、ホームページ等で保護者に教育方針をわかりやすく伝えている : 91.0%
- ・学校はお子様の間違った行動を改めるように指導していると思う : 90.07%
- ・お子様は文化祭、体育祭、宿泊行事などの学校行事に積極的に参加している : 95.6%

- ・学校の文化行事（芸術鑑賞・講演会等）は充実していると思う : 91.7%
 - ・学校は資格、検定の取得に取り組んでいる : 96.4%
 - ・学校のホームページをご覧になったことがある : 94.8%
 - ・お子様を大和田中学校に入学させて良かったと思う : 94.0%
 - ・事務職員の保護者への対応は良い : 96.0%
- イ. 評価A+Bが60%未満の「評価の低い」項目
- ・学校のPTA活動に参加しやすい : 56.7%

○ 教員

アンケートの項目（全48項目）を肯定的評価（A+B）の割合で集計したのが表3である。肯定的評価が80%以上の「評価の高い」項目は30項目で全体の63%、肯定的評価が60%未満の「評価の低い」項目は9項目で全体の19%であった。評価A+Bが95%以上の「特に評価が高い」項目の10項目と評価A+Bが50%未満の「評価の低い」5項目は、以下の通りである。昨年度に比べて、大きな変化は見られない。

表3 肯定的評価（A+B）の割合別項目件数

(%)	100～90	～80	～70	～60	～50	～40	～30	～20	項目総数
28年度	20	10	4	5	4	2	2	1	48
27年度	20	10	7	7	2	0	2	0	48

ア. 評価A+Bが95%以上の「特に評価の高い」項目

- ・教育課程は学習指導要領に沿っている : 98.2%
- ・学校ホームページで可能な範囲で情報公開をしている。 : 96.6%
- ・募集活動が上手く展開され、生徒募集が上手くいっている。 : 96.5%
- ・生徒アンケートを踏まえて、分かる授業の実践に向けての取組が行われている。 : 98.2%
- ・学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。 : 96.6%
- ・進路の実現に向けて計画的な指導がなされている。 : 100.0%
- ・挨拶をすることや、時間を守る指導を通して、基本的な生活習慣の確立に努めている。 : 98.2%
- ・体調不良・けが等への対応はスムーズに行えている : 98.2%
- ・保健室の機能が十分に活用されている : 100.0%
- ・カウンセリング制度があり、活用されている : 96.5%

イ. 評価A+Bが60%未満の「評価の低い」項目

- ・評議員会、理事会の役割や機能について理解している : 28.1%
- ・ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育を行っている : 44.8%
- ・併設大学・短大との連携体制が整い、指導が行われている : 35.1%
- ・初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある : 42.1%
- ・教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている : 35.1%

学校関係者評価委員会からの意見

○ 学校関係者評価委員会 実施日時 平成29年3月7日（火曜日） 午前10時50分～12時40分
会場：校長室

出席評価委員

大阪国際学園理事	鈴木委員
守口市立大久保中学校長	東野委員
寝屋川市立第五中学校長	坂口委員
大阪国際大和田三窓会会長	岩本委員
大阪国際PTA会長代理	大島委員
守口市大久保校区地域代表	小野委員

学校側出席者

大阪国際大和田高等学校校長	中井孝典
〃 副校長	鹿島秀樹
〃 教頭	黒川泰宏
〃 事務局長	浅野迅夫

○ 評価委員からの意見

- アンケートの「建学の精神」（A+B）については、H25は48.5%、H26は65.2%、H27は61.3%、H28は69.4%であり、他のアンケート結果が概ね80%以上あることと比較すると数値が毎年伸び悩んでいる。生徒に周知させて欲しい。
- 進学実績は毎年向上し、H27年度は国公立進学54名、難関私立大学213名合格であり、近年は進学校として認められている。今後の国公立大学の実績が気になる。さらに伸ばして欲しい。

3. 今年度の英検2級の合格者は、高校1年生51人（在籍291）、2年生48人（在籍261）、3年生31人（在籍260）で合計は130名であり素晴らしい。また、英検2級だけでなく、準1級合格者が各学年に1人、準2級は268名など誇れる数字である。さらに伸ばして欲しい。中学校も2級が10人、準2級が40人であり、今後を期待する。
4. 授業力の向上を図ることは大事である。若手の教員が多いと難しいのではないか。他校や、他府県へ派遣などをして研修の機会の増加を推進してほしい。
5. 私立大学を受験するために3科に絞って勉強する英数コースの生徒は、将来、就職試験を受ける際に不利になっているのではないか。今後の検討課題にしてほしい。
6. 文武両道と謳っているが武のほうの評価が分からない。スポーツでのアピールもしてほしい。
7. グローバル化に向けて英語は必要だが、英語以外の外国語はどうか。
8. PTAへの参加については、PTA役員は頑張っている。さらに学校の協力をお願いしたい。
9. 今年度の保健室の改善が非常に良い。生徒の精神的な面でのフォローにも力をいれて欲しい。
10. ノーチャイムの制度はいい制度だと思うので続けてほしい。
11. 学校のホームページはかなり充実している。フェイスブックやブログにもいろんな先生に参加していて楽しみである。ただ、投稿時間が21時以降になっている場合が見受けられる。労働時間が気になる。
12. 併設大学との連携については教育の分野での連携を目指すのも一手である。
13. 授業改善についてはプロジェクターを利用した授業も充実して欲しい。
14. 中学校の総合的学習に対する保護者の反応も知りたい。中学校の総合的学習はもっとPRするべき。

平成28年度 学校関係者評価(生徒)

資料①

よく当てはまる場合→A、やや当てはまる場合→B、あまり当てはまらない場合→C、全く当てはまらない場合→D

設問No	設問内容		2016高3 A+B%	2015高3 A+B%	2014高3 A+B%	2013高3 A+B%
1	学校の建学の精神を理解している	学校運営・教育活動	69.4%	61.3%	65.2%	48.5%
2	学校の教育方針を理解している		75.5%	70.8%	67.9%	59.7%
3	学校の授業は、総じて分かりやすい		88.3%	83.8%	76.7%	76.2%
4	学校は、学力向上に取り組んでいる		92.8%	92.4%	89.9%	83.5%
5	学校は、わからなかったときの補習、質問指導に熱心である		90.4%	94.5%	87.7%	83.1%
6	自分のクラスは総じて楽しい		87.9%	86.4%	87.6%	85.3%
7	学校がよりよくなるように感じる		72.7%	58.9%	63.8%	54.1%
8	先生は、いじめや暴力のないクラスづくりに取り組んでいる	生徒指導	87.6%	83.7%	81.6%	72.7%
9	先生は、生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている		87.6%	78.7%	81.6%	74.5%
10	先生は、生徒の間違った行動を改めるように指導している		92.0%	92.2%	88.0%	84.8%
11	学校は、緊急時の対応を生徒に伝えている	防災	90.7%	82.7%	86.9%	84.4%
12	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っている		95.2%	92.8%	95.5%	94.8%
13	文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している	課外活動	85.7%	86.9%	84.3%	79.2%
14	学校の生徒会活動は活発である		77.5%	68.0%	69.4%	67.5%
15	学校の部活動は活発である		80.7%	69.3%	76.5%	71.0%
16	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいる		91.2%	79.5%	68.9%	67.1%
17	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいる		86.7%	79.6%	76.4%	74.0%
18	学校の文化行事(芸術鑑賞・講演会等)は、充実している		83.5%	74.8%	63.7%	62.8%
19	大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある	進路	93.1%	87.9%	84.3%	85.3%
20	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を育てようとしている		85.9%	68.7%	69.2%	66.7%
21	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる		87.1%	89.3%	90.3%	87.0%
22	先生は、熱心に指導している	教員	93.6%	92.1%	88.0%	88.3%
23	先生は、自分たちのことを理解している		88.4%	73.4%	74.5%	67.5%
24	困ったとき、相談をしたり手助けをしたりしてくれる先生がいる		92.3%	88.2%	85.4%	79.2%
25	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる	施設	68.0%	58.0%	55.4%	54.5%
26	事務室での手続きや相談の対応は、親切である	事務室	86.6%	88.5%	82.4%	76.6%
27	保健室での処置や相談の対応は、親切である	その他	82.8%	60.9%	53.2%	35.1%
28	本校のホームページ(フェイスブック含む)の内容は、他校と比べて充実している		80.7%	60.1%	66.2%	58.4%
29	本校の生徒であることに誇りを持っている		85.2%	71.4%	72.3%	64.1%
30	大和田高校に入学してよかったと思っている		87.6%	83.1%	80.1%	77.5%

平成28年度 学校関係者評価(高校保護者)

資料②a

よく当てはまる場合→A、ややあてはまる場合→B、あまりあてはまらない場合→C、全くあてはまらない場合→D

	番号	質 問	2016年	2015年	2014年	2013年
			A+B	A+B	A+B	A+B
学校運営・教育活動	1	学校は、保護者や生徒に対して、建学の精神をわかりやすく伝えている。	80.2%	80.2%	75.6%	74.7%
	2	学校は、印刷物・ホームページ等で、保護者に教育方針をわかりやすく伝えている。	87.2%	85.8%	83.2%	82.5%
	3	お子様は、授業が分かりやすいと言っている。	81.0%	77.0%	73.7%	67.8%
	4	学校は、お子さまの学力向上に取り組んでいると思う。	87.7%	84.9%	81.4%	81.0%
	5	学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。	69.4%	70.7%	67.2%	67.1%
	6	学校は、情報を積極的に発信している。	82.2%	81.0%	76.7%	77.1%
	7	学校は、保護者に出す文書・事務連絡を適切に行っている。	89.1%	90.9%	87.9%	87.9%
	8	校長は、積極的に学校改革に取り組んでいると思う。	76.3%	86.4%	81.8%	79.0%
生徒指導	9	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。	90.1%	87.1%	86.5%	82.3%
	10	学校は、教師が生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっていると思う。	86.3%	86.1%	84.1%	81.4%
	11	学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。	91.7%	90.9%	90.8%	86.0%
	12	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。	79.7%	81.5%	79.4%	79.0%
防災	13	学校は、緊急時の対応を生徒や保護者に伝えている。	81.8%	79.8%	83.8%	84.1%
	14	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っていると思う。	84.1%	74.0%	81.1%	79.3%
課外活動	15	お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。	93.3%	92.0%	90.1%	89.0%
	16	学校の生徒会活動は活発だと思う。	72.9%	70.4%	69.0%	67.4%
	17	学校の部活動は活発だと思う。	72.8%	68.3%	68.5%	68.3%
	18	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいると思う。	80.1%	79.6%	76.8%	69.5%
	19	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。	83.9%	82.4%	81.0%	80.7%
	20	学校の文化行事(芸術鑑賞・講演会等)は、充実していると思う。	84.9%	83.9%	82.4%	81.6%
進路	21	大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。	84.1%	82.9%	79.4%	77.6%
	22	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとしている。	76.3%	72.9%	72.3%	69.2%
	23	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。	93.5%	89.0%	87.9%	87.4%
教員	24	先生は、お子さまを熱心に指導していると思う。	90.9%	88.6%	85.7%	85.1%
	25	先生は、お子さまのことを理解していると思う。	81.5%	81.3%	78.5%	78.7%
	26	先生は、保護者の相談に適切に応じ、意思疎通をきめ細かく行っている。	81.2%	80.3%	78.0%	74.2%
施設	27	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。	66.8%	66.3%	64.3%	64.1%
事務室	28	事務職員の保護者への対応はよい。	91.9%	93.1%	89.5%	87.1%
PTA	29	学校でのPTA活動は活発である。	79.5%	75.6%	66.3%	66.5%
	30	学校のPTA活動には参加しやすい。	52.4%	51.7%	47.7%	48.1%
その他	31	本校のホームページを御覧になったことがある。	87.3%	83.6%	82.5%	80.7%
	32	ご家庭でお子さまは、自分の学級が楽しいと言っている。	80.5%	83.0%	79.0%	78.9%
	33	お子さまを、大和田高校に入学させてよかったと思う。	88.9%	88.2%	85.7%	84.6%

前年比2pt以上の増は赤字 2pt以上の減は青字 加減10ptを超える場合は数字が斜体
数値が9割を超えている項目には黄網 7割を切っている項目には青網

平成28年度 学校関係者評価(中学保護者)

資料②b

よく当てはまる場合→A、ややあてはまる場合→B、あまりあてはまらない場合→C、全くあてはまらない場合→D

	番号	質 問	2016	2015	2014	2013
			A+B	A+B	A+B	A+B
学校運営・教育活動	1	学校は、保護者や生徒に対して、建学の精神をわかりやすく伝えている。	85.0%	82.2%	83.0%	79.3%
	2	学校は、印刷物・ホームページ等で、保護者に教育方針をわかりやすく伝えている。	91.0%	86.8%	88.5%	87.5%
	3	お子様は、授業が分かりやすいと言っている。	75.1%	72.5%	71.1%	65.2%
	4	学校は、お子さまの学力向上に取り組んでいると思う。	81.0%	82.0%	82.6%	75.5%
	5	学校は、保護者がお子さまの学校生活を参観する機会をよく設けている。	82.4%	84.1%	77.1%	75.5%
	6	学校は、情報を積極的に発信している。	85.4%	85.8%	80.7%	81.5%
	7	学校は、保護者に出す文書・事務連絡を適切に行っている。	89.2%	88.8%	85.3%	85.9%
	8	校長は、積極的に学校改革に取り組んでいると思う。	81.4%	91.2%	87.6%	87.5%
生徒指導	9	学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいると思う。	85.9%	86.0%	86.7%	90.8%
	10	学校は、教師が生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっていると思う。	83.4%	79.4%	75.2%	76.1%
	11	学校は、お子さまの間違った行動を改めるように指導していると思う。	90.0%	90.3%	90.4%	91.3%
	12	学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。	78.3%	75.8%	77.1%	75.0%
防災	13	学校は、緊急時の対応を生徒や保護者に伝えている。	79.8%	83.3%	86.2%	81.0%
	14	学校は、災害が起こった場合の訓練を行っていると思う。	86.6%	78.3%	82.6%	76.6%
課外活動	15	お子さまは、文化祭・体育祭、宿泊行事などの学校行事に、積極的に参加している。	95.6%	93.4%	93.6%	93.5%
	16	学校の生徒会活動は活発だと思う。	82.9%	80.6%	79.4%	75.0%
	17	学校の部活動は活発だと思う。	71.1%	72.3%	79.4%	70.7%
	18	学校は、国際理解・ボランティア活動等に取り組んでいると思う。	85.2%	83.6%	85.8%	77.2%
	19	学校は、校内美化、校区美化活動に取り組んでいると思う。	84.6%	85.5%	86.7%	84.8%
	20	学校の文化行事(芸術鑑賞・講演会等)は、充実していると思う。	91.7%	89.6%	89.9%	86.4%
進路	21	高校・大学の進路指導に関して適切なアドバイスがある。	72.3%	70.2%	64.7%	73.4%
	22	学校は、学習だけでなく、将来の自分の生き方を考えさせ、豊かな心を持った生徒を育てようとしている。	76.0%	72.3%	69.3%	69.0%
	23	学校は、資格、検定の取得に取り組んでいる。	96.4%	94.8%	95.4%	91.3%
教員	24	先生は、お子さまを熱心に指導していると思う。	85.8%	86.0%	83.9%	84.8%
	25	先生は、お子さまのことを理解していると思う。	77.8%	73.4%	74.3%	73.4%
	26	先生は、保護者の相談に適切に応じ、意思疎通をきめ細かく行っている。	79.1%	74.6%	72.9%	78.8%
施設	27	学校の施設・設備は、学習環境の面で満足できる。	68.9%	73.3%	71.6%	77.2%
事務室	28	事務職員の保護者への対応はよい。	96.0%	89.5%	92.2%	87.5%
PTA	29	学校でのPTA活動は活発である。	84.1%	79.0%	74.8%	65.2%
	30	学校のPTA活動には参加しやすい。	56.7%	54.8%	54.6%	48.9%
その他	31	本校のホームページを御覧になったことがある。	94.8%	92.4%	93.1%	91.3%
	32	ご家庭でお子さまは、自分の学級が楽しいと言っている。	84.5%	84.6%	85.8%	84.2%
	33	お子さまを、大和田中学校に入学させてよかったと思う。	94.0%	90.5%	87.6%	88.0%

前年比2pt以上の増は赤字 2pt以上の減は青字 加減10ptを超える場合は数字が斜体
数値が9割を超えている項目には黄網 7割を切っている項目には青網

平成28年度 学校評価自己評価(教員)

資料③

A:よくあてはまる B:ややあてはまる
C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	設問	2016			2015	2014	2013
			中学16	高校42	全員58	全員	全員	全員
			A+B	A+B	A+B	A+B	A+B	A+B
学校運営	本校の精神	1 建学の精神が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。	75.0%	58.5%	63.2%	76.8	70.2	63.2
		2 教職員・学校関係者は、学校の方針・目標を理解している。	87.5%	87.8%	87.7%	94.6	93.0	91.2
		3 在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	93.8%	87.8%	89.5%	91.0	78.9	78.9
	教育課程	4 教育課程は学習指導要領に沿っている。	100.0%	97.6%	98.2%	89.2	89.5	94.7
		5 年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	93.8%	95.1%	94.7%	98.2	98.2	93.0
	教職員連携	6 教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	93.8%	85.4%	87.7%	84.0	86.0	82.5
		7 教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	68.8%	73.2%	71.9%	82.2	77.2	75.4
	財務関係	8 予算、決算の収支の状況について理解している。	68.8%	48.8%	54.4%	60.7	56.1	70.2
		9 評議員会、理事会の役割や機能について理解している。	18.8%	31.7%	28.1%	30.3	31.6	36.8
	情報公開	10 学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	100.0%	95.2%	96.6%	98.2	100.0	93.0
		11 保護者などへ授業を公開している。	100.0%	85.4%	89.5%	87.5	91.2	87.7
	危機管理	12 事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	87.5%	90.2%	89.5%	82.1	70.2	71.9
		13 危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	81.3%	85.4%	84.2%	82.2	73.7	73.7
	地域交流	14 地域や地域住民との交流ができています。	56.3%	63.4%	61.4%	73.2	57.9	63.2
	募集広報	15 募集活動がうまく展開され、生徒募集がうまくいっている。	100.0%	95.1%	96.5%	98.2	100.0	94.7
教育内容	学習指導	16 生徒アンケートを踏まえて、分かる授業の実践に向けての取り組みが行われている。	100.0%	97.6%	98.2%	96.4	87.7	93.0
		17 学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行っている。	94.1%	97.6%	96.6%	92.8	91.2	84.2
		18 生徒は教科の学習に満足している。	93.8%	95.0%	94.6%	91.1	82.5	78.9
	特色教育	19 生徒に応じたきめ細かな教育を実施している。	93.8%	92.7%	93.0%	92.9	91.2	94.7
	情報教育	20 生徒の情報活用能力の育成を図っている。	56.3%	61.0%	59.6%	66.1	59.6	61.4
		21 情報の発信に伴う責任など情報のモラル面の教育に十分取り組んでいる。	56.3%	70.7%	66.7%	69.6	64.9	63.2
	人権教育	22 人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法を教員が研究する体制がある。	62.5%	63.4%	63.2%	67.9	70.2	66.7
		23 人権尊重の教育において、さまざまな学習方法で、意識を高める教育を行っている。	81.3%	73.2%	75.4%	75.0	73.7	66.7
	環境教育	24 ゴミ、リサイクル、省エネなど身近な問題から環境への関心を高める教育をしている。	43.8%	45.2%	44.8%	64.2	54.4	52.6
		25 生徒に清掃、校内美化に取り組ませている。また、施設・設備を大切にすることを育成している。	100.0%	92.7%	94.7%	94.7	86.0	91.2
	健康教育	26 疾病予防、健康維持、衛生管理の指導・啓発が行われている。	81.3%	95.1%	91.2%	78.5	64.9	73.7
	生徒会活動	27 生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している。	87.5%	82.9%	84.2%	91.1	84.2	75.4
		28 部活動は活発だ。	75.0%	75.6%	75.4%	76.8	82.5	71.9
		29 ボランティア活動は活発だ。	37.5%	68.3%	59.6%	62.5	61.4	33.3
		30 体育祭、文化祭などの学校行事は活発だ。	93.8%	82.9%	86.0%	91.1	93.0	82.5
31 他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れている。		93.8%	78.0%	82.5%	87.5	75.4	66.7	
進路指導	32 生徒一人ひとりの興味・関心・適性に応じた進路選択ができるような支援体制がある。	87.5%	95.1%	93.0%	91.0	93.0	86.0	
	33 進路の実現に向けて計画的な学習指導がなされている。	100.0%	100.0%	100.0%	94.7	93.0	91.2	
	34 併設大学・短大との連携体制が整い、指導が行われている。	6.3%	46.3%	35.1%	37.5	29.8	35.1	
生徒指導・支援	生徒指導	35 生徒指導は学校の方針に従っている。	93.8%	95.1%	94.7%	98.2	98.2	96.5
		36 生徒の生活指導に組織的に対応する体制がある。	87.5%	92.7%	91.2%	98.2	91.2	91.2
		37 中高生にふさわしい服装をすること、またふさわしい行動がとれるよう、徹底した指導ができています。	93.8%	90.2%	91.2%	100.0	94.7	94.7
		38 挨拶をすることや時間をまもる指導などを通して、基本的な生活習慣の確立に努めている。	93.8%	100.0%	98.2%	100.0	96.5	94.7
		39 生徒指導において、家庭との連携ができています。	100.0%	92.7%	94.7%	96.5	96.5	94.7
	生徒支援	40 体調不良・ケガ等への対応はスムーズに行えている。	93.8%	100.0%	98.2%	94.6	63.2	77.2
		41 保健室の機能が十分に活用されている。	100.0%	100.0%	100.0%	83.9	52.6	54.4
		42 カウンセリング制度があり、活用されている。	100.0%	95.1%	96.5%	85.8	80.7	70.2
		43 教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会がある。	81.3%	78.0%	78.9%	75.0	87.7	91.2
教員研修・資質向上	教員研修	44 公開授業・授業アンケート等が定期的な実施、また反映され、授業改善への取り組みが行われている。	81.3%	85.4%	84.2%	80.4	84.2	87.7
		45 効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施している。	68.8%	58.5%	61.4%	76.8	66.7	80.7
		46 初任者等、経験の少ない教員を学校全体でサポートする体制がある。	31.3%	46.3%	42.1%	60.7	49.1	50.9
		47 教員が計画的に校外研修を受ける体制が整っている。	25.0%	39.0%	35.1%	55.4	49.1	42.1
		48 研修、研究に参加した成果を、他教員に伝えて情報を共有する体制がある。	50.0%	56.1%	54.4%	58.9	49.1	50.9